

SYOHEI ニュース 令和7年1月号

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

昨年元旦に発生した能登半島地震、9月の奥能登豪雨により被災され、今なお不自由な生活を余儀なくされておられる皆様にお見舞い申し上げます。

さて、皆様はこの年末年始をどのようにお過ごしでしたか。私は、遠出することもなく、趣味のスポーツで汗を流した以外は平々凡々の9連休でした。実はここ数年、健診後の保健指導が恒例になっておりまして、メタボ対策でもう少し運動の頻度を上げたいところなのですがなかなか叶いません。皆様も健康にはご留意ください。

奥州市では、国のガイドラインに基づく「奥州市立病院・診療所経営強化プラン」を昨年3月に策定し、市立2病院3診療所が経営改善や連携強化等の取り組みを進めています。

しかしながら、昨今の人件費や物価の高騰に伴う経費の増大、人口減少と新型コロナ後の受療動向の変化による患者数の減少など、経営の見通しはプラン策定時に比べて想定以上に厳しい状況です。

このため、今年はプランの見直しも視野に、更なる経営効率を高める施策の検討が必要と考えています。

一方、総合水沢病院の後継施設となる新医療センターについては、整備基本計画の策定を目指して関係者間の調整や検討が進められていますので続報をお待ちください。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

奥州市病院事業管理者
朝日田 倫明



令和7年度医師奨学生募集要項発表

奥州市では12月11日、来年度の医師養成奨学生募集要項を発表しました。皆様のお知り合いの方への周知をお願いします。

募集人員 1名程度

貸付金額 月額30万円(定額)

入学一時金1,080万円(定額)

入学準備金360万円を限度(義務履行加算あり)

入学準備金(胆江梓)200万円(義務履行加算無)

※ 貸付総額は最大で6年間で3,800万円です。



応募資格

奥州市立病院及び診療所の医師として業務に従事する意思がある方

募集期間

令和7年2月3日(月)から6月13日(金)

選考

面接及び書類審査 令和7年3月15日(土)

3月12日以降に申請書受理者は別途お知らせ

償還免除

医師免許を取得し初期研修終了後に貸付期間と同じ期間、奥州市立病院で勤務した場合は貸付金額の償還を免除します。

応募方法

募集要項及び奥州市医療局ホームページにて詳細をご確認のうえ、下記問い合わせ先まで郵送または持参にてお申込みください。



問合せ先

奥州市医療局医師確保推進室：浦川・渋谷・尾形
TEL 0197-25-3833 FAX 0197-25-3832
<https://www.city.oshu.iwate.jp/site/iryoukyoku/>

大谷翔平選手の2024シーズンの成績ボード

打率310② 本塁打54① 打点130① 盗塁59②
MLB初の50-50 50本塁打50盗塁を達成した！
打者専念で本塁打王、打点王、MVPを獲得
ドジャースのワールドシリーズ制覇に貢献

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。
令和7年1月1日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町3-1 TEL0197-25-3833
市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。 第57号

奥州市の民俗芸能 「奥州胆沢北下幅神楽」

奥州市水沢北下幅: ときを越え受け継がれるもの・・・奥州遺産No.105 令和元年6月

【奥州市の神楽】奥州市の神楽の指定文化財保持団体は32団体(県1、市31)、その内訳は、南部神楽(22)、山伏神楽(6)、獅子舞(2)、権現舞(1)、太神楽(1)です。

南部神楽は、明治以降に農民達の手によって発達した極めて娯楽性の高い神楽です。浄瑠璃や歌舞伎・郷土の伝説を素材に平易な科白と大胆な所作が特徴で、その多くが北上川西部に分布しています。一方、北上川東部の旧江刺郡には、岳・大償の早池峰神楽を祖とする山伏神楽と瀬台野神楽を祖とする南部神楽が混在しているほか、太神楽も傳承されています。広報おうしゅう「奥州遺産」には3神楽が掲載されています。今回は奥州胆沢北下幅神楽をご紹介します。

水沢市街地を抜け西に進むと、豊かな田園風景が広がる北下幅地区に至る。奥州胆沢北下幅神楽は、この地で農村部の暮らしの中に根をおろし、140年以上にわたり受け継がれてきた。

北下幅神楽の歴史は、稻荷田の千葉源五郎によって始まった。隣村の上幅神楽で学んだ源五郎は、明治8年、近隣の舞い仲間と共に北下幅神楽を創設する。西磐井郡の達谷神楽、水沢の瀬台野神楽と交流して習得と熟練に努めるとともに、さまざまな地域での神楽興行や他団体への伝授にも力を注いだ。

そうした実績が認められ、昭和35年に旧水沢市無形文化財に指定された。現在は小学生から60代まで26人が所属。地元神社への御神楽奉納や神楽大会、芸術文化祭に出演するなど精力的に活動を行っている。五穀豊穰の幕を背に舞い続けてきた北下幅神楽——。親から子へと引



- ❶ 演目「天乃岩戸開」の一場面。天之太玉の尊が「千代の御神楽」を舞う
- ❷ 水沢市稻荷田の神楽碑は創立百年を記念し建立されたもの。斎藤實が北下幅神楽を観た際に揮毫した「楽真想」の文字が刻まれる
- ❸ 北下幅神楽では、子どもたちによる活動も盛ん。きらびやかな衣装と鳥兜を身にまとい御神楽を演じる
- ❹ 平成19年には稻荷田大権現を数十年ぶりに復興。毎年、元旦に地域の家々を回り、門付けを行っている



き継がれてきた技と精神は、美しい田園風景と共に続いていく。

【神楽とは】 招魂・鎮魂の神祭に奏されてきた芸能で、神楽の語源は神座の約音とされています。宮中の御神楽と民間の神楽に大別され、民間では巫女、神主、山伏によって全国に傳承されてきました。岩手県では修験山伏が組織した山伏神楽が最も多く、次いで修験道廃止後、農民達によって発達した県南地方の南部神楽(科白神楽)となっており、このほかに大乗神楽、社風神楽、太神楽などがあります。